

CLOSE UP!



患者さんへ一言

リンパ浮腫でお困りの方、保存的治療だけ希望される方、外科的治療に興味はあるが怖いと感じている方も、話を聞いただけでもいいので、お気軽にご相談ください。



■説明は、
形成外科・美容外科
外来医長
山下 雄太郎
(やました ゆうたろう)
【お問い合わせは】
TEL.088-633-7047
(形成外科・美容外科外来)

リンパ浮腫外来開設

平成30年9月に形成外科・美容外科に開設された「リンパ浮腫外来」についてご紹介いたします。今回は、リンパ浮腫外来の担当医である山下雄太郎医師にお話を伺います。

● リンパ浮腫とは

リンパ液の環流が、何らかの要因により阻害されることによって起こる浮腫(腫れ)で、ガンの術後(リンパ節郭清術)に多く出現します。これまでは保存的な理学療法以外に有効な治療法がなかった疾患ですが、近年、リンパ浮腫に対する有効な外科的治療法が開発され、注目されている疾患で、近年は理学療法の一部に保険適用も認められています。リンパ浮腫に対する治療が広まってきたことにより、当院でも新しい治療法を提供できるよう、リンパ浮腫外来を開設しました。



● リンパ浮腫外来での診察・治療について

リンパ浮腫の治療は大きくふたつに分けられます。ひとつは手術以外の理学療法、もうひとつは手術による外科的治療です。

理学療法

まず、弾性包帯や弾性ストッキングによる圧迫療法を中心に行い、浮腫をある程度改善させます。同時に、運動療法やスキンケア指導等、日常生活での注意事項について説明を行います。場合によっては、リンパ浮腫療法士が在籍しマッサージの施術を行っている医療機関をご紹介します。今後は、当院外来でもマッサージを施術できるような環境を整える等、保存的治療にも尽力していきます。

外科的治療

保存的治療で改善されず、追加の治療を希望する患者さんには、外科的治療についてご説明し、希望があれば手術を行います。外科的治療の代表的な手術に「顕微鏡下リンパ管静脈吻合手術」があります。リンパ管と静脈を、顕微鏡で確認しながら糸でつなぎ合わせ、リンパ液を正常な静脈に返してあげることで、リンパ浮腫を改善させる手術です。リンパ管を静脈につなぐことにより、リンパ液が静脈に流れ浮腫の改善が見込めますが、ある程度改善しても再度、詰まることがあります。効果が出ない人や重症の人は、リンパ節移植等、別の方法も検討する必要があります。「リンパ管静脈吻合手術」の他にも、いろいろな治療法が開発されていますが、全ての患者さんに効果が期待できるわけではなく、効果の程度も個人差があります。今後も、個人差の要因や他の有効な治療法を探し、万人に一定の効果が出るような治療法を開発していきたいと考えております。

● リンパ管静脈吻合

